

NRIセキュアテクノロジーズとユービーセキュア、ガートナーの「日本におけるセキュリティのハイプ・サイクル」に関連プレーヤーとして掲載

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社(以下「NRIセキュア」と、その子会社である株式会社ユービーセキュア(以下「ユービーセキュア」))は、ガートナー*1 が発表した日本におけるセキュリティのハイプ・サイクル*2 において、それぞれ「インフラストラクチャ、リスク・マネジメント編」、「アプリケーション、データ、プライバシー編」へと掲載されたことをお知らせします。

ガートナーは本リサーチノートで、日本におけるセキュリティの注目すべき重要なテクノロジー、手法および概念を分析し、それぞれの定義や成熟度、ビジネスへの影響について解説しています。この中で、NRIセキュアは「日本におけるセキュリティ(インフラストラクチャ、リスク・マネジメント)のハイプ・サイクル:2019年」のマネージド検知/対応分野において、ユービーセキュアは「日本におけるセキュリティ(アプリケーション、データ、プライバシー)のハイプ・サイクル:2019年」の静的/動的アプリケーション・セキュリティ・テスト分野において、関連プレーヤーとして紹介されています。

なお、ガートナーが2018年まで発行してきた先代レポート「日本における情報セキュリティのハイプ・サイクル」から数えると、NRIセキュアは11年連続、ユービーセキュアは6年連続で、関連プレーヤーとしてハイプ・サイクルに掲載されたこととなります。

NRIセキュアは「マネージドEDRサービス*3」を提供しており、EDR製品の導入企業向けに、セキュリティ専門アナリストが脅威モニタリングおよび分析を行い、インシデント発生時には適切な対処を支援して、EDRの導入効果を大きく向上させます。

一方、ユービーセキュアが提供する自社開発のWebアプリケーション脆弱性検査ツール「Vex*4」は、優れた脆弱性検出率を有しており、セキュリティサービスベンダーをはじめ、官公庁や大手企業など、業種業態を問わず多くの法人・団体に採用され、安全なアプリケーション設計・開発を支援しています。

NRIセキュアとユービーセキュアは、今後も、企業・組織の情報セキュリティ対策を支援するさまざまな製品やサービスを提供し、国内外における安全な情報システム環境と社会の実現に貢献していきます。

***1 ガートナー社:**

米国コネチカット州スタンフォードに本拠を置く、業界最大規模のITアドバイザリ企業です。詳細は以下のWebサイトをご覧ください。

<http://www.gartner.com/>

***2 日本におけるセキュリティのハイプ・サイクル:**

ガートナーは2019年に、日本におけるセキュリティのハイプ・サイクルに関するリサーチノートを3種発行しています。NRIセキュアは「日本におけるセキュリティ(インフラストラクチャ、リスク・マネジメント)のハイプ・サイクル:2019年」(Y.Kimura著、2019年6月28日)、ユービーセキュアは「日本におけるセキュリティ(アプリケーション、データ、プライバシー)のハイプ・サイクル:2019年」(Y. Isoda著、2019年6月28日)に関連プレーヤーとして掲載されました。

*3 マネージドEDRサービス:

NRIセキュアの「マネージドEDRサービス」の詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.nri-secure.co.jp/service/mss/edr>

*4 Vex:

ユービーセキュアのWebアプリケーション脆弱性検査ツール「Vex」の詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.ubsecure.jp/vex>

ガートナー免責条項

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するように助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。